



学校法人志賀学園  
久之浜こども園  
令和7年1月31日

## 2月の園だより

梅の蕾がほころび始め、ようやく季節の移り変わりが感じられるようになってきました。お天気の良い日には、2歳以上の子ども達は、園庭に出てラジオ体操やかけっこ、外あそびなど元気に遊んでいます。年長さんになりますと、サッカーや縄跳びなど自分から進んで意欲的に遊ぶ姿も見られます。

先日は先生方にも告知せず、火災を想定した避難訓練を行いました。毎月の避難訓練は前日に打ち合わせを行い、当日は主任が「訓練です。訓練です。………」と始まるのですが、今回は突然園長の声で放送が始まりましたので、多少の緊張感があったようです。上靴のまま飛び出したクラス、下靴に履き替えて出たクラス、防災頭巾を被らずにいち早く園庭に出たクラス、防災頭巾を被って出てきたクラス、其々でしたが、どのクラスも真剣に避難する姿が見られました。

2月の行事といえば、豆まきの風習でおなじみの「節分」ですが、今年の節分は例年より一日早い2月2日です。例年2月3日に行われる行事ですが、なぜ今年の節分は2日になるのでしょうか？

その理由が国立天文台の公式サイトで解説されていますのでお伝えします。

<2025年節分が2月2日になる理由(国立天文台公式サイト)>

地球が太陽の周りを1週する=1年と数えられますが、厳密にいうと1年は「365日」ではなく「365日と6時間」となります。約6時間というズレを解消するために「うるう年」がありますが、それでもわずかなズレが生じるため立春の日付が前後するのです。今年は立春が2月3日なので、節分はその前日の2月2日となります。

節分とは季節の変わり目にあたる日のことで、元々は立春・立夏・立秋・立冬の前日を指していました。旧暦で春は一年のはじまりであることから、現在では立春の前日のみを「節分」というようになっています。節分に豆まきを行うのは邪気を払って福を呼び込むためです。一般的には、病気や災害などの悪いものを鬼に見立て追い出そうというのですが、園では、最近、豆の誤飲の心配もあり、段ボールで作った鬼に向けて子ども達と先生で豆をまきます。園で作った鬼のお面は、ご家庭の豆まきでご活用ください。尚、今年の節分は2月2日(日)になりますので、園内での豆まきは、本日行いました。

園では、鬼の嫌がる臭いのする焼いたイワシの頭と触ると痛い柵を、豆がらの枝に刺した『ヤイカガシ』をしばらくの間玄関に飾っておきますので、どうぞご覧になり親子の会話の一つとしてください。

2日の節分の日には、お家でも、どんな鬼を退治するのか家族で話し合い、豆まきを試みてはいかがでしょうか！